

# 平成 22年度 予算公表

## 協働のまちづくり

### 町民が主体となったまちづくりを目指して

#### 一般会計25億9,700万円の予算を編成

**歳入**

歳入の主なものとしては、町税が景気の後退により6億7,339万2千円で前年度比3・3%、約2,308万円の減となりました。地方交付税は前年度の実績等により8,000万円増の8億2,000万円を見込みました。この二つで全体の57・5%を占めています。

地方譲与税は自動車重量譲与税等の落ち込みにより前年度比5・2%減の2,750万円、国県支出金は中学校屋内運動場耐震改修事業等により約3・5倍の3億2,179万9千円となりました。繰入金は、財政調整基金からの繰入の減により、58・9%減の2,521万4千円、町債は屋内運動場耐震改修事業に係る

平成22年度当初予算が3月定例議会で可決されました。一般会計の予算総額は、25億9,700万円で前年度に對して4億4,100万円、20・5%の増額となりました。しかしながら、財源不足となる1,898万6千円は町の貯金である財政調整基金から繰り入れるため、予算の執行段階においても歳出の削減と歳入の確保に努め、財源不足の解消を図ります。

特別会計の予算総額は、4会計合わせて11億8,110万円で前年度に對して5,070万円、4・1%の減となりました。これは主に給食センター事業特別会計が一般会計へ統合されたことによるものです。公営企業会計である水道事業会計につきましては、下記のとおりです。

町の財政状況は、町税の大幅な減収が見込まれる一方で公債費は依然として高水準であり、社会保障関係経費の自然増等により構造的に極めて厳しい状況にあります。そのため、経常的な経費の増加を抑えつつ投資的経費の内容検討を重ね、財政調整基金の取崩を最小限に抑え、自立可能な財政運営を考慮し予算の編成を行ったところです。

( ) 内は前年度比

特別会計		
国民健康保険	7億1,390万円	△2.5%
後期高齢者医療	6,520万円	25.1%
介護保険	4億150万円	△1.6%
老人保健	50万円	△50.0%
給食センター	0万円	△100.0%
合計	11億8,110万円	△4.1%

給食センター会計は一般会計に統合しました。

水道事業会計			
収益的	収入	1億5,876万2千円	△1.1%
	支出	1億4,405万4千円	△4.0%
資本的	収入	1万1千円	0.0%
	支出	8,063万7千円	6.3%



耐震工事が行われる神崎中学校屋内運動場

**歳出**

本年度の主要事業は、神崎中学校屋内運動場耐震改修事業、成田神崎線道路改良事業等普通建設事業で3億4,100万円を計上し、臨時的財政対策債で3億2,530万円と臨時的財政対策債で3億2,530万円を計上しました。

その他の重点事業については、次ページの主な事業一覧のとおりです。なお、町債（借入金）の返済経費である公債費は、前年度比1・5%減の3億9,652万9千円を計上しました。

町債の借入残高は平成21年度末で約27億1,220万円、1・0%減となり、町民一人当たりになると約41万円となりました。

また、国の補正予算等に伴う繰越事業については、学校施設改修事業をはじめ8事業あり総額約7,630万円です。